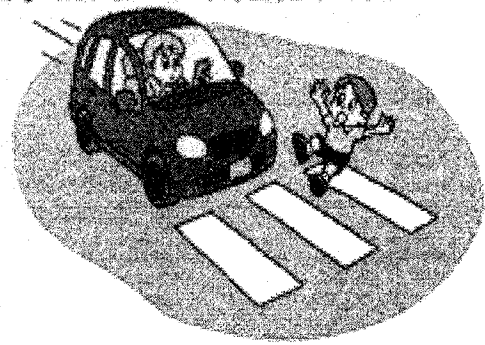
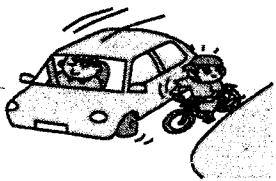


春の行楽期における交通事故防止

春の行楽シーズンを迎え、外出する機会や県外車の流入が増えることで交通量が増加し、交通事故が多発します。

子供と高齢者の交通事故防止

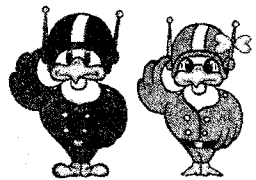
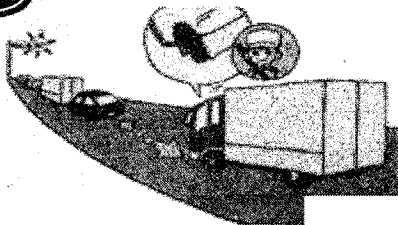


疲れをためない運転をしましょう

- 時間に余裕を持った計画
- 体調不良の時は、運転を控える
- こまめな休憩とストレッチで、心と身体をリフレッシュ

速度を控え運転をしましょう

- 制限速度を守り安全なスピードで走行
- 危険を予測した「かもしれない」運転
- 車間距離を十分にとる



飲酒運転を根絶しましょう

- 飲酒運転四（し）ない運動
「飲んだら乗らない」
「乗る人には飲ませない」
を徹底しましょう。

「乗るなら飲まない」
「飲んだ人には運転させない」



～信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道～

春山遭難防止

登山される皆さんは、次の点に注意して安全登山を心掛けてください！

無理のない登山計画と立てる
行動予定は家族と共有
単独登山は要注意
十分な日程と装備で
気象情報を必ず確認



昨年の春山（4月～6月）では、54件の遭難が発生し、死者・行方不明者11人を含む56人が遭難しました。
 春山は、気温の上昇に伴う雪崩などに十分な注意が必要です。
 一方、天候が急変すると真冬並みの吹雪となり、低体温症による行動不能や視界不良による道迷い等のリスクも高まります。
 ピッケル、アイゼン等の必要な装備を携帯しない、使いこなせていないために、雪上でスリップして滑落するケースも見受けられます。
 春山登山には、天候や積雪状況を考慮した判断、雪上技術、体力など総合的なスキルが求められます。

